

◆ 立川都税事務所長賞 ◆

「幸せな使い道」

東久留米市立下里中学校 3年 加藤 寿珠

私は今まで税金について考えたことがありませんでした。幼い頃、商品を買った時に元の値段に何円か足されていることに気がつきました。あとから、「消費税」という国に取られてしまう分のお金だと知り、嫌な気持ちになったことを覚えています。集めた税金が何に使われているのかが疑問だったので、調べてみました。主な使い道は、公共施設、公共サービス、教育費だそうです。ただ回収させていただきだけではなく、私達が快適に暮らすために使われていて、大切な仕組みだということが分かりました。使い道の中で特に気になった学校について調べてみると、税金が使われているのは校舎や教科書、理科の実験や体育で使う道具、先生方のお給料などらしいです。学校はほとんどが税金で作られていることを知り、そこに通えているのはとても恵まれているなど改めて感じました。ただ、私は、使い道に足してほしいと思った項目が二つあります。

一つ目は教育格差のない環境作りです。私の学校では通信環境が悪く、全員が同時にパソコンを立ち上げるとフリーズしてしまうことがよくあります。学びたいと思った時に使用できないのは、とても不便で、意欲も低下してしまいます。また、全クラス共有のテレビも壊れかけていて、度々授業の進行が妨げられています。けれど、どちらの問題もお金が足りないせいで、解決できないそうです。私は、仕方のないことだと思いつつも、勉強にかかるお金はあまり惜しまない方が良くと思いました。なぜなら、育ってきた環境が違うだけで、勉強面での差が出てしまうのは良くないと思うからです。だから、お金が足りない地域に対する補助金などの制度があると良いと思いました。

二つ目は子育てをしている人の経済面での負担軽減です。子育ては体力面や精神面など大変なことがたくさんあるらしいです。だから、経済面では少しでも楽になるように、子育て用品は消費税を安くすると買いやすくなると思います。すでに少子高齢化の対策として色々な制度が作られているので、これからもっと良い案が出てきてほしいです。子育てがしやすい環境を作ることは、将来の日本を支える子供達が増えることにつながると思います。税金を納める人が増えると、一人当たりの負担が減るので、積極的に問題も解決してほしいと思いました。

税金について調べてみて、疑問が解決して新しいことも学びました。特に税金の必要性や使い道を知ることができて良かったです。これからも、困っている人のために税金が使われて、誰もが幸せになってほしいです。